

# 2020 TNB視察会のご案内

「COVID-19」は、時代変化のスピードを10年早めたとも言われ、東京一極集中から地方へ機能分散する動きも早まっていると感じられます。ここ東北・福島においても東日本大震災からの復興を旗頭に、世界最大級の研究拠点が福島県浜通りを中心に本格稼働し始め、それぞれの拠点がどう連携・機能し、地域経済・東北の産業界にどう裾野を広げられるのか、実際の現場から学びとることを目的に視察会を企画しました。訪れる施設は全てが今年開所したばかりで、1日で最新のイノベーションの情報を得られる絶好の機会となっております。

特に「福島ロボットテストフィールド(RTF)」においては、同日、「超異分野学会フォーラム(主催:(公財)福島イノベーションコースト構想推進機構)」が開催されており、一般見学とは異なる「フィールド内バス見学ツアー」や、ドローン・ロボティクスなどのデモンストレーションへのゲスト参加が出来る予定で、RTF 入居企業や大学・研究機関、ベンチャーとの新たな出会いも期待したいところです。参加お申込みお待ちしております！

日時：2020年11月13日(金) 9:45仙台駅東口集合～18:20 仙台駅解散

対象：TNB 会員 ※他地域 NBC 会員様・入会お誘い中の方も大歓迎

定員：25名 参加費：5,000 円(貸切バス・入館料・昼食代含む)

視察先：～福島県浜通りエリアを巡ります～

「東日本大震災・原子力災害伝承館」

「福島水素エネルギー研究フィールド」

「福島ロボットテストフィールド」

行程：9:45 仙台駅東口バスターミナル集合～貸切バスにて出発

11:10 <JR 原ノ町駅経由 \*途中合流者ピックアップ>

11:45～12:30 浪江町にてランチ交流

12:55～13:40 双葉町「東日本大震災・原子力災害伝承館」

13:55～14:30 浪江町「福島水素エネルギー研究フィールド」

15:00～16:30 南相馬市「福島ロボットテストフィールド」

・・・「超異分野学会フォーラム」にゲスト参加・・・

16:50 <JR 原ノ町駅経由>

18:20 仙台駅東口バスターミナル到着～解散



【参加お申込み】 参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてお申込み下さい。

※TNB 公式 HP「新着情報」の視察会ご案内の中に「[参加申込入力フォーム](#)」もありますので、

そちらからのお申込みも可能です。<https://www.tnb.or.jp>

申込締切日は11月6日(金)としますが、定員に達した時点で締切りますので、

お早めにお申込み下さい。



【現地視察先でのマイカー合流を希望される方】 TNB事務局までご相談下さい。

【お問合せ先】 (一社)東北ニュービジネス協議会 事務局

TEL:022-261-5817 FAX:022-261-2890 e-mail:info@tnb.or.jp

## 視察先概要

### 東日本大震災・原子力災害伝承館

所在地:福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39

「東日本大震災・原子力災害伝承館」が令和 2 年 9 月 20 日にオープンしました。

この伝承館はイノベ構想における情報発信拠点と位置づけられており、地震や原子力災害および復興の過程を示す資料を収集保存して未来に残すとともに展示して災害・復興に関する情報を発信する拠点です。

世界初の甚大な複合災害の記録や教訓とそこから着実に復興する過程を収集・保存・研究し、風化させず後世に継承・発信し世界と共有することは、被災を経験した人々の共通の想いです。当施設では、特に福島だけが経験した原子力災害をしっかりと伝えることとし、「未来への継承・世界との共有」「防災・減災」「復興の加速化への寄与」の3つの基本理念を掲げます。

展示室では約 24 万点におよぶ収蔵資料を活用し展示が行われています。

### 福島水素エネルギー研究フィールド

所在地:福島県双葉郡浪江町大字棚塩字東赤坂89番

NEDO、東芝エネルギーシステムズ(株)、東北電力(株)、岩谷産業(株)が、2018 年から福島県浪江町で建設を進めてきた、再生可能エネルギーを利用した世界最大級となる 10MW の水素製造装置を備えた水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)」が 2 月末に完成し、稼働を開始しました。

本施設は再生可能エネルギーなどから毎時 1,200Nm<sup>3</sup>(定格運転時)の水素を製造する能力を持ち、電力系統に対する需給調整を行うことで、出力変動の大きい再生可能エネルギーの電力を最大限利用するとともに、クリーンで低コストの水素製造技術の確立を目指しています。

また、製造された水素は、定置型燃料電池向けの発電用途、燃料電池車や燃料電池バス向けのモビリティ用途などに使用される予定です。

### 福島ロボットテストフィールド

所在地:福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番

福島ロボットテストフィールド(以下、RTF)は、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主な対象にした、実際の使用環境を拠点内で再現しながら研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行うことができる、屋外の大型実証試験場で、福島イノベーションコースト構想の下で整備している、世界に類を見ない一大研究開発拠点です。現在 RTF 内の研究棟には、ドローン、ロボット、モビリティ、非破壊検査などに関連する 22 の大学・研究機関や企業が入居し、本格的な実証試験が始まっています。視察会当日は、RTF 入居者と県内外の事業会社、ベンチャー、研究者を交え、ドローン、ロボティクス、インフラ検査、農業 IoT、災害対応などの施設の見学ツアーやデモンストレーションに参加頂けます。フィールドを活用した実証研究を現場で考えられる貴重な機会です。

…超異分野学会 福島ロボットテストフィールド 開所記念フォーラム 2020…

～福島から実証を、そして世界へ～

〈フォーラム日時〉 2020 年 11 月 13 日(金)13:00~20:00 ・ 11 月 14 日(土)11:00~16:30

↳ こちらの一部分プログラムに参加予定

〈参加対象者〉 研究者、大企業、ベンチャー、地元企業、自治体、中高生、市民等

〈企画キーワード〉 屋外実証試験、ロボット、ドローン、空飛ぶクルマ、自動運転、インフラ非破壊検査、リモートセンシング etc.

〈主催〉公益財団法人福島イノベーションコースト構想推進機構 〈運営〉株式会社リバネス

# 2020年11月13日開催予定 TNB視察会参加申込書

## ◆お申込み方法 \*申込締切日11月6日(金)

- ①FAXの場合……下記参加申込書をご記入の上、FAX 022-261-2890 までお送り下さい。
- ②メールの場合……下記参加申込書の記載事項を全てご記入の上、info@tnb.or.jp までお送り下さい。
- ③入力フォーム利用の場合……当案内1枚目のQRコード、もしくはTNB公式HP「新着情報」の視察会ご案内から参加申込用入力フォームで、お申込みも可能です。

## ◆参加費用のお支払いについて

事務局よりご請求書を送付いたしますので、指定期日までにお振込み下さいますようお願いいたします。  
振込手数料につきましては、貴社にてご負担下さいますようお願いいたします。

## ◆参加申込みのキャンセルについて

参加申込み後のキャンセルにつきましては、11月6日(金)の午前中までをお願いいたします。  
それ以後のキャンセルについては、参加費のご返金はいたしませんので予めご了承下さい。

## ◆新型コロナウイルス感染防止対策について

当日はマスク着用、バス乗車時や各施設入館時の消毒・検温にご協力願います。  
併せて、施設ガイドラインに基づき、厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストール  
ご協力をお願いいたします。  
当日、咳や発熱など体調がすぐれない方は、無理せずにご参加をお控え頂きますようお願いいたします。

## ◆お問い合わせ先 (一社)東北ニュービジネス協議会 事務局

TEL:022-261-5817 FAX:022-261-2890 E-mail : info@tnb.or.jp

会社名			
ご住所	〒		
参加者名		役職名	
TEL		FAX	
携帯番号		会員区分	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 他地域NBC会員「」NBC
Eメール			
集合・移動手段	<input type="checkbox"/> チャーターバスに乗車(仙台駅) <input type="checkbox"/> チャーターバスに乗車(原ノ町駅) <input type="checkbox"/> 自家用車		

## ■特記事項

--